


第 259 回 都市懇サロン レポ ー ト	「3DVR ソフト UC-win/Road と WebVR プラットフォーム F8VP による都市のデジタルツイン・メタバース活用」		
講 師	株式会社フォーラムエイト 執行役員 新田純子さん	開催日	令和 5 年 12 月 12 日(火) 18:00~20:00
講 師 プロフィール	2011 年 株式会社フォーラムエイトに入社後、同社の VR、FEM、設計関連パッケージを活用した各種システム構築提案に従事し、現在(執行役員/営業サポート管理マネージャ)に至る。建設・地方自治体等の業界を中心に各種ハードウェアとの連携システム構築やクラウド、XR、メタバースにける提案やプロジェクト推進を多数実施。2019 年 第 8 回ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞を受賞。		
お話 の 概 要	<p>1. 3DVR ソフト UC-win/Road</p> <p>①特徴:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間情報上に三次元データを構築可能で、人流データとの連携が可能。 ・設計・測量データとの容易な連携が可能。 ・自動車の走行シミュレーション、日照・陰影、夜間照明のシミュレーションが可能。 <p>②解析データとの連携:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害シミュレーションや風解析の他、緑視率や環境のシミュレーションが可能。 ・国土地理院データやオープンストリートマップの連携により、地形や地物のデータを取り込み可能。 <p>③道路・都市モデリング:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路通しや線形、沿道環境のプリセット、設計断面の読み込みが可能。 ・多くのプリセット 3D モデルで容易に都市モデルを作成可能。 <p>④デジタル田園都市へのアプローチ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーシティ/スマートシティ型と MaaS 型において、まちづくりやシェアリングカーのデポ配置のシミュレーションが行われている。 ・防災、減災対策、観光分野での活用があり、来訪意欲向上や AR コンテンツとして利用されている。 <p>⑤プロジェクト・プラトーの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラトーのデータを読み込み、テクスチャを使用して高解像度の街を構築可能。 ・建築物の壁面検査や太陽光パネルの導入影響のシミュレーションが可能。 <p>⑥ウォークアブル空間とアンケート:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮想的なウォークアブル空間を作成し、体験後のアンケートによる検証が可能。 <p>2. WebVR プラットフォーム F8VP</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪道走行や重機の遠隔操作のシミュレーション練習用に活用可能。 ¥ 工事現場でのリアルタイムな重機動作再現や施工プロセス、インフラ改修の VR 上でのシミュレーションが可能。 		
意見 交 換 の 概 要	質問では、テクスチャの質や実際の天候の再現度など、環境のリアリティに迫ることができると質問され、現時点でのサービスの可能性と限界について回答なされた。		
記 録 者 の ひ と こ と	構想する都市空間における実態をシミュレーションし、分かりやすく「見える化」するツールとしての可能性を感じた。《都市懇サロン運営部会 委員 氏原茂将》		